

②みやしろ健康福祉プラン – 障がい者基本計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画 –
重点事業進行管理評価表（令和元年度最終評価）

補足説明資料

1. 地域福祉の推進体制

1-1-2④ 福祉教育の推進

- ・達成基準①②については、当初予定していた研修や勉強会を適宜開催し、町職員、教職員、民生委員など障がい者や障がいの理解促進を図ることができた。
- ・達成基準③については、福祉の店を実施し、4団体参加して、障がい者や障がいの理解促進を図ることができた。
- ・達成基準④については、教育委員会、宮代特別支援学校の共催での研修、教育委員会主催研修を行い、教職員の質の向上を図った。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～④の評価をAとした。

1-1-4② 障がいを理由とする差別の解消の推進

- ・達成基準①については、埼葛北地区地域自立支援協議会で検討し、「障害者差別解消支援地域協議会」を設置することができた。

※以上の結果、外的要因で会議の開催はできなかったが、設置については計画よりも早くできたため、評価をAとした。

1-2-3① 支援ネットワークのしくみづくり

- ・達成基準①については、既存のネットワークを活用し連携強化のための会議を行うことはできた。機能強化の検討については、検討まで至らなかった。
- ・達成基準②については、医療的ケア児支援については、関係機関、関係者で連携会議を開催し、切れ目のない支援に向けた検討をすることができた。

※以上の結果、①については一部未達成のため評価C、②については計画通りに進めることができたため評価Aとした。

2. サービス提供体制

2-1-2 相談の一元化

- ・達成基準①については、各テーマに沿った会議を開催し、必要な検討を実施することができた。
- ・達成基準②については、行政、サービス提供事業者向けの人材育成研修を行い、相談の質の向上を図ることができた。
- ・達成基準③については、相談支援体制の充実のため、相談支援事業者連絡会を行い、連携を図った。
- ・達成基準④については、予定通りサービス等利用計画を作成することができた。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～④の評価をAとした。

3. 福祉サービス

3-2-1 ⑥ 地域生活支援拠点等整備

- ・達成基準①～⑤については、地域生活支援拠点設置に向け、必要な検討、機能の一部運用など順調に進めた。

※以上の結果、設置に向けた検討等は進められているが、令和2年度中の設置ができなかったことから、①～⑤の評価をBとした。

3-2-2 ① 障害者支援施設・グループホーム等の整備誘導

- ・達成基準①～②については、整備誘導のための情報収集を行った。また、整備に向けたイメージ（将来像）を持つため、近隣に設置されたグループホームの見学を行った。

※以上の結果、設置に向けた検討等は進められているが、具体的進展を図ることができなかったため、①の評価をB、②の評価をCとした。

3-3-1 ① 障がい福祉サービスの確保

- ・達成基準①～②については、それぞれ適切な支給決定、サービス提供ができた。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～②の評価をAとした。

4. 保健・医療サービス

4-1-1 ⑤ 健康相談・栄養相談・訪問指導の実施

- ・達成基準①～③については、年間の予定を作成し、各相談を実施した。適宜、訪問指導等も実施した。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～③の評価をAとした。

4-1-2 ① 精神保健相談の推進

- ・達成基準①については、ケース検討会議を行い、適切なケース対応をした。
- ・達成基準②については、幸手保健所と連携を図り、困難ケースの対応をした。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～②の評価をAとした。

5. 教育（保育）・生涯学習

5-1-2③ 就学支援委員会の運営（多様な教育機会の選択）

- ・達成基準①～④については、障がいや気になる子の早期発見・早期対応をするため、関係機関と連携を図り進めることができた。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～④の評価をAとした。

5-1-3⑥ 交流教育の推進

- ・達成基準①については、小・中学生が宮代特別支援学校に行き、交流を図った。
- ・達成基準②については、地域に住む障がいのある子が、地域の小学校に行くなど、支援籍学習を行うことができた。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～②の評価をAとした。

5-1-4② 発達障がい児等の教育支援体制の充実

- ・達成基準①～③については、発達障がいや気になる子に対応するため、チーム編成をして、対応する教職員に対し助言、実践的研修を行った。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①～③の評価をAとした。

6. 生活基盤

6-1-2① 障がい者の雇用の場の創出

- ・達成基準①については、障がい種別問わず募集し、採用試験を実施し、1名を雇用した。
- ・達成基準②については、情報収集・意見交換を行うものの、具体的な取り組みをすることができなかった。

※以上の結果、計画通りに進めることができたため、①の評価をAとした。また、具体的な取り組みをすることができなかった②の評価をCとした。

7. 生活環境

7-1-3③ 避難行動要支援者支援体制の整備

- ・達成基準①～②については、名簿更新を行い、各自主防災組織に対し、個別支援計画の作成依頼をした。
- ・達成基準③については、リーダー養成講座を行った際に、計画作成の必要性、制度の周知など行ったが、全要援護者に対する計画作成にはなっていない。
- ・達成基準④については、制度の周知を行った。
- ・達成基準⑤については、現行課題を整理し、福祉避難所にかかる訓練の準備をした。

※以上の結果、計画通りに進めることができた①②④⑤の評価をAとした。また、個別支援計画の作成が進んでいないため③の評価をBとした。

